

平成29年度新エネルギー産業（電池関連）創出事業補助金 採択案件の概要

※事業者名 五十音順

計画名称	熱中症対策用ウェアラブルクーラーの開発
事業者名（所在地）	株式会社アクアテック（大東市）
計画の概要	<p>社会問題となっている熱中症対策として、リチウムポリマー電池を電源としたウェアラブルな局部冷却装置を開発する。</p> <p>特に高齢者は高温状況下でも暑さを感じにくく、熱中症に至るケースが多い。そこで、体温、外気温をセンサーで捉え、自動的に冷却動作を開始する。</p> <p>冷却動作は、自社独自の小型ポンプを用い、ペルチェ素子で冷却した液体を循環させることで、体の大動脈に接するポイント（脇や首筋など）を冷やし体温上昇を防ぐものであり、体温上昇が危険状態になると外部へアラームを送信する機能も実装予定。</p>

計画名称	5V 級次世代リチウムイオン蓄電池用の電解液とセパレータの開発
事業者名（所在地）	宇部興産株式会社 大阪研究開発センター（堺市）
計画の概要	<p>長年、培った独自のリチウムイオン電池用の電解液とセパレータ技術を進化させ、従来よりもエネルギー密度を大幅に向上（約20%アップ）させた高耐久性の電気自動車（EV）向け5V 級次世代リチウムイオン蓄電池用の電解液とセパレータを開発する。</p>

計画名称	水素ステーション次世代機器対応の高圧水素用ゴムの開発
事業者名（所在地）	高石工業株式会社（茨木市）
計画の概要	<p>自社独自のゴム材料の配合ノウハウを活かし、水素ステーションの次世代水素圧縮機及び次世代水素ディスペンサーに対応できる高圧水素用ゴム材料を開発する。</p> <p>次世代水素圧縮機用として、様々なシール構造に対応できる高温対応フッ素ゴムを、次世代水素ディスペンサー用として、従来より長時間の充填に耐えられる低温対応エチレンプロピレンゴム（EPDM）を開発する。</p>